

■山川発電所・周辺の植生状況

発電所は薩摩半島南端の平坦な畑地に位置し、周辺に樹林地がほとんど分布しないことから、発電所の建設・供用に伴う周辺植生への影響はみられない。



発電所の北方向。生産基地 A の手前は帯状の樹木植栽地。



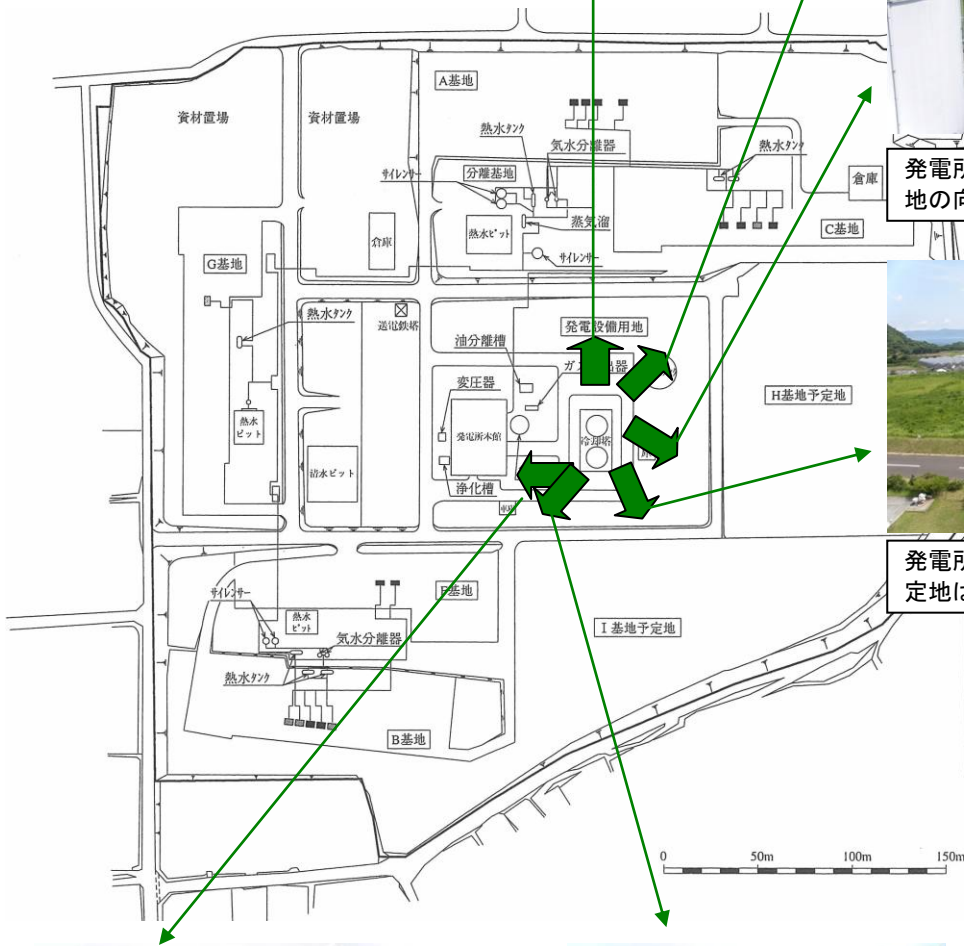
発電所の北東方向。周辺は畑地で遠方の山地の森林が見える。



発電所の南東方向。H 基地予定地の向うは畑地と竹山。



発電所の南南東方向。H 基地予定地は草地。



発電所の西方向。遠くに開聞岳が見える。手前は丘陵地の畑地。



発電所の南西方向。還元基地 B の向こう側は畑地。

■山川発電所・構内の植生状況



発電所本館、冷却塔など発電施設周辺の修景植栽。



本館玄関付近のソテツによる修景植栽。発電所近傍の竹山の岩肌のソテツは天然記念物に指定されている。



発電所本館に隣接する冷却塔周辺の修景植栽。低木はハマヒサカキ、サツキ、ドウダンツツジなどが多い。



発電施設周辺の修景植栽



発電所本館前の駐車場周りの修景植栽。樹種はソテツ、ヤマモモ、マテバシイ、ウメガシ、アメリカデイゴ、低木ではハマヒサカキ、トベラ、マルバシヤリンバイ、サツキ、アベリア、ハイビスカス、ヒラドツツジ、キンシバイ、サザンカなど一般的な樹種が用いられ、生育は正常。



発電所入口付近の法面植栽。サツキ、アベリア、キンシバイなどはよく刈り込まれている。



法面は夏季の草刈の時期にあたり、刈り込み作業中であった。

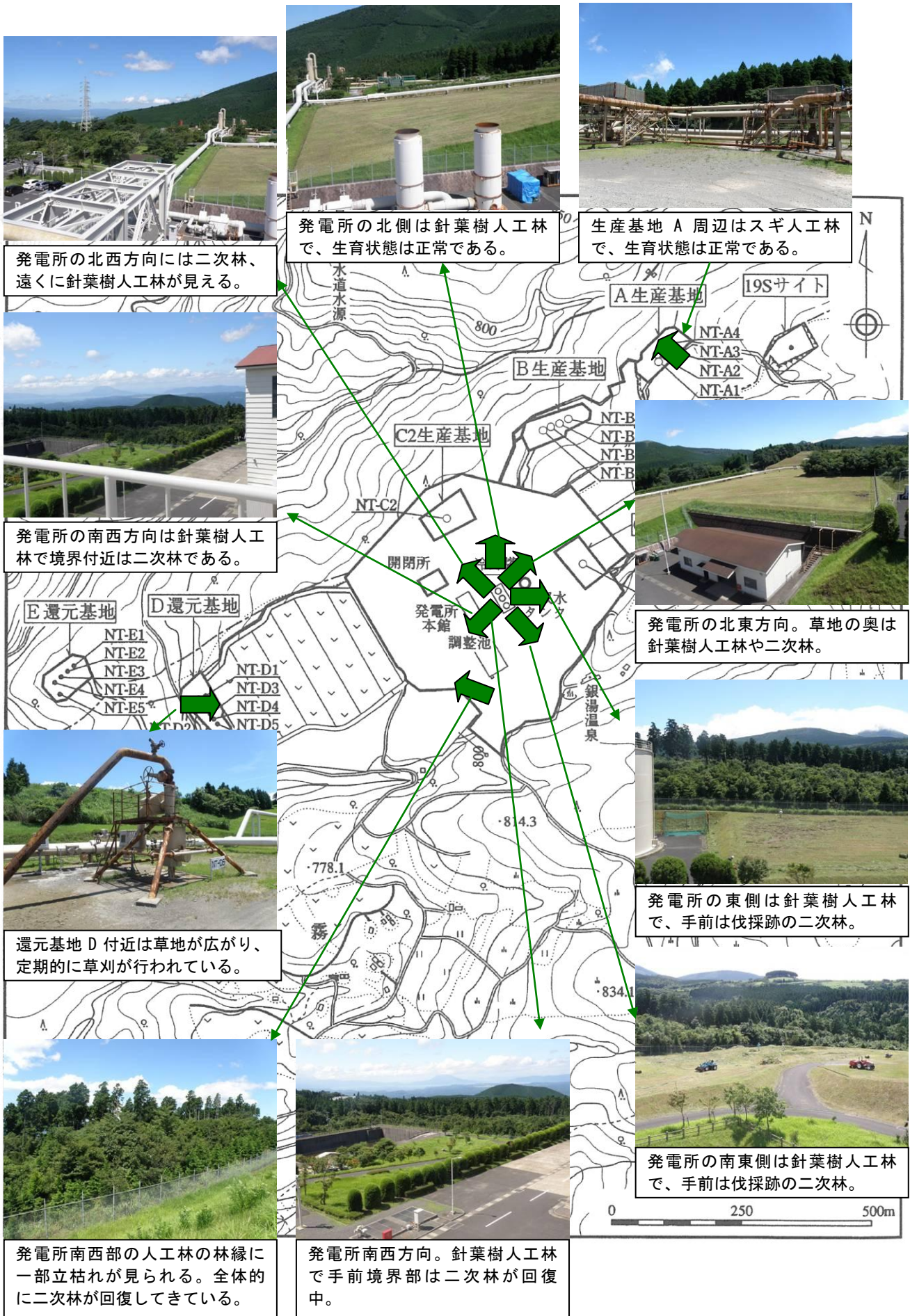


発電設備用地と生産基地 A との間の修景植栽。高木樹種が多用され、常緑樹種により遮蔽効果が大きい。



生垣状の修景植栽。

■大霧発電所・周辺の植生状況



■大霧発電所・構内の植生状況



発電施設周辺の修景植栽。植栽は疎らで草地在広い面積を占めている。



発電所本館の周囲はヒムロスギの列植で修景植栽されている。



冷却塔周辺も本館と同様に修景植栽されている。



発電所本館玄関付近の修景植栽。高木はケヤキ、クヌギ、イロハモミジ、低木はツバキ、アセビ、ツツジ類。



本館近くの園地。ケヤキなどが疎らに植栽され緑陰を形成。



発電所南東方向の施設予定地。夏季の草刈作業中。



同上。法面は広さ・高さとの比較的大きく、敷地内で目立つ。



調整池周辺の修景植栽。クヌギ、イロハモミジ等の落葉樹主体。



同上。樹種はその他ツバキなどがみられ、疎らな植栽。



調整池周辺の法面。マルバハギが生育するが、導入されたか、あるいは法面吹付の際に非意図的に入ったものとみられる。